

らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 137 2月号

2017年2月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL (0791) 62-0469

新宮図書館 TEL (0791) 75-3332

揖保川図書館 TEL (0791) 72-7666

御津図書館 TEL (079) 322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、
左のQRコードから

(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

読書と私 No.128

「図書館の魅力」

揖西町 藤田 美加

我家の主な図書館利用目的は、子どもの宿題のヒントを頂きに行く事です。

私のスマホ以外ネット環境の無い家庭なので、宿題で〇〇について調べてくるとか夏休みの自由研究などが出題されると、いざ図書館へ駆け込みます。「こんな労力を使うならネットを」と思うところですが、図書館にはネットに無い魅力があるのです。ポイントで調べられるネットに比べて書物から目的の答えを探すまでには、いろいろな記事のページをめくりながら、結構、他の知識が身に付いたりします。

この間は、台風について調べていたのですが同じページに虹のでき方が載っていて、この年になって詳しく理解できました。

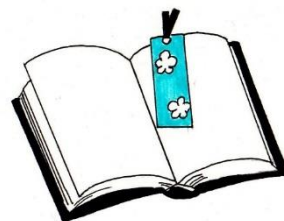
書物で調べるのは、遠回りのようでその間いろいろな事が学べてちょっとした物知り博士になりそうです。

その他の魅力といえば、私流、本の検索の仕方。

とりあえず本を眺めながら順に歩いてみますと、思いがけず、これは生活に活かせるというひらめきの書物に出会える事があります。

又ある時は、心に悩みがあってすごく落ち込んでいた時に、ふと司書さんをお願いした書物、「どこから読んでも理解できて、人生の指針となるような、そしてHAPPY ENDで終わる本」このような身勝手な要望にも2冊の本を選んで頂きました。

どんな難しい人生論の本かなと思いきやそれは、吹き出すくらい奇想天外な物語であるにもかかわらず目からうろこの発想があり、夢中で読み通しました。と同時にしっかり私の心の回復も図ってくれていました。司書さん見事です。



※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『アウシュヴィッツの図書係』

アントニオ・G・イトウルベ 作 小原 京子 訳 集英社



ナチスの絶滅収容所と言われたアウシュヴィッツに家族で住む収容所があり、子どものための学校があった。

目と鼻の先で死体が焼かれ黒煙を吐き出しているのに、かけ算の九九を教えることに意味があるのかという教師もいたが、校長のヒルシュは、子ども達を失望に陥らせないという教育を超えた使命感をもって学校を運営していた。

そして、そのために図書館をひらき14歳の少女・ディタを図書係に任命した。ナチスが禁じる本を授業で使うのは命の危険を伴うが、ディタは自分の服に内ポケットを作り、隠した本を先生のところまで運んだ。

蔵書は、ばらばらの地図帳、『幾何学の基礎』、H・G・ウェルズ『世界史概観』、かなり傷んだ小説などわずか8冊だった。ディタは、本をの

りで修理し、ベンチに並べて皆に見せ、「生きた本」として先生に、暗記している『ニルスの不しぎな旅』などの物語を語ってもらった。

レジスタンスから収容者の反乱の指揮を持ちかけられたヒルシュが、自殺めいた謎の死を遂げ混乱するディタ。唯一の慰めは、トイレでこっそり読む小説『兵士シュヴェイクの冒険』の主人公の言動のおかしさだった。

本書はジャーナリストである著者が、ディタに会い、調査し、その事実フィクションを加味したものである。

わざと騒ぎを起こして本が見つかるのを防いでくれた老先生など印象深い人物も多く登場し、人間性を剥ぎ取られそうな状況においても、本が人の心にもたらす良き力を信じ、本を守り、与えようとした人が確実に居り、実際にその恩恵を、過酷な現実を忘れ、明日への希望という形で受けた子どもがいたことに心揺さぶられる。

(揖保川図書館 大西)

※申込、問い合わせは各図書館まで

トピックス

イベントのお知らせ

揖保川図書館

『SAKANAのみた夢』

～成広のり子の世界～

《展示》

水彩、オイルパステル等で描く魚たちをお楽しみ下さい。

【画家】成広のり子氏 (揖保川町出身)

【期間】2月15日(水)～2月26日(日)

【場所】揖保川図書館 フロア

《ワークショップ》

成広のり子さんとエコバッグに型染めをしましょう!

【日時】2月25日(土) ①10時～12時

②14時～16時

【場所】アクアホール 3階 研修室

【対象】一般(中学生以上)

【定員】各15名(要申込・先着順)

【持ち物】1000円、筆記用具(鉛筆・消しゴム)、定規、よく切れるカッターナイフ、習字の下敷、絵具セット(パレット・筆洗)、新聞、ぞうきん、デザイン画(B5)

※見本は揖保川図書館にあります

【申込】揖保川図書館(電話可)

新宮図書館

映像講演会

名村一義の記録

《展示》

日本で越冬する白鳥たちの生態をうつした写真を展示します。

【期間】3月2日(木)～3月30日(木)

【場所】新宮図書館 入口付近と研修室

《講演会》

名村一義氏が撮りためた記録映画を上映し、映画にまつわる話をさせていただきます。

【講師】名村一義氏(写真家・新宮町在住)

【上映作品】「冬の使者 白鳥の生態」

「栗栖川 生きものたちと四季」

【日時】3月4日(土) 14時～15時30分

【場所】新宮図書館 研修室

【対象】一般(中学生以上)

【定員】50名(要申込・先着順)

【申込】新宮図書館(電話可)

おすすめする子どもの本・127

『だるまちゃんととらのこちゃん』

加古 里子 さく・え 福音館書店

だるまちゃんは、とらのこちゃんの所へ遊びに行きました。とらのこちゃんの家はペンキ屋さんです。2人はペンキで絵を描いて遊びたかったのですが、ペンキはとらのこちゃんのお父さんが仕事で使うので使えません。そこで、黄色の土と赤色の泥で、絵の具とペンキを作りました。

お互いの体に色を塗って遊んでいるうちに楽しくなった2人は、歌いながら町のあちこちにきれいな模様を描いていきました。ところが夢中になって描いていると、こわいひげとらどんの車にペンキが飛んでしまいます。「うえーん、よごしたりして ごめんなさー

い」と謝ると、ひげとらどんは「どうだね、ひとつきれいなもようを、わしのかいしやのくるまにもかいてくれんかね」と言いました。それを聞いた2人はたちまち元気になりました。

ひげとらどんの車に模様を描いていると、次々に色々なお店から車の塗り替えをしてほしいと電話がかかってきたので、みんなで手分けして車にきれいな模様を描きました。楽しいペンキ塗りがたくさんできて、だるまちゃんはにこにこうれしくなって家に帰りました。

だるまちゃんととらのこちゃんが、歌いながら模様を描く描写は、思わず一緒に口ずさみたくなるほど楽しく、温かい気持ちになります。読んであげるなら3歳くらいから。
(御津図書館 内田)

『小さなバイキングビッケ』

ルーネル・ヨンソン 作 石渡 利康 訳 評論社

スウェーデンに住むあらくれ者、バイキングの子どもビッケは、争いを嫌う優しい子どもです。ある夏、族長であるお父さんハルバルの遠征に一緒に行くことになりました。何日も航海すると、立派な建物が立ち並ぶ町を発見し上陸します。そして町で

一番大きな建物を襲撃したハルバル達は、ドアの内側に掘られていた深い穴に落ちてしまいました。ハルバル達は武器を取り上げられ牢屋に閉じ込められてしまいます。けれども、ビッケはお腹に、ある魚を隠しておきました。夜中になると、その魚ののこぎりのようなくちでドアに穴を開け上

手く脱出し、武器を取り戻しました。ところが、敵はハルバル達が船に戻る前に追いつき、ビッケと話すことを要求します。ビッケは持っていた珍しいノコギリエイと引き換えに、機転を利かせた交渉で金貨10枚、桶100個、ネックレス50本などの財宝を手に入れました。

また狂暴なフリースランドのバイキングに追われ襲撃されそうになった時には、火を付けた矢を敵船の帆に命中させました。よく乾燥していた帆はすぐに燃え上がり帆を失った敵船は失速し、ハルバル達は逃げおおせ無益な戦いを避けることができました。

フランク人に捕まったハルバル達の救出作戦や仲間の歯痛を同時に一石四鳥な方法で治すなど、小さなビッケの知恵で事態をうまく切り抜ける様は痛快です。その後シリーズが5冊あります。小学3年生ぐらいから。
(新宮図書館 井口)



2月の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

★ えほんのじかん・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌など

龍野図書館 【対象】1～3歳児、保護者
 18日(土)・25日(土) 11時～11時20分
 『いないいないばあ』他

新宮図書館 【対象】2～4歳児、保護者
 13日(月)・19日(日)・27日(月) 11時～11時20分
 『まめのかそえうた』他

揖保川図書館 【対象】2～4歳児、保護者
 4日(土)・11日(土)・18日(土) 10時30分～10時50分
 『ととけっこうよがあげた』他

御津図書館
 【対象】1～4歳児、保護者
 12日(日)・19日(日)
 11時～11時20分
 『どうぶつのことどもたち』他

【対象】5歳児～
 12日(日)・19日(日)
 11時30分～11時50分
 『あっ! ゆきだ』他

★ おはなしのじかん【対象：5歳以上】・・・絵本の読み聞かせ、わらべ歌、語りなど

新宮図書館
 18日(土)・25日(土)
 10時15分～10時45分
 「ミリー・モリー・マンデーおつかいに行く」他

揖保川図書館
 4日(土)・11日(土)・18日(土)
 11時～11時30分
 「マメジカ カンチルが穴に落ちる話」他

★ 読書会【対象：一般】・・・本を読んで感想を話し合う

龍野図書館
 10日(金) 10時～11時30分
 『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』リリー フランキー著

揖保川図書館
 17日(金) 10時～12時
 『生きる』乙川優三郎 著

御津図書館
 15日(水) 13時30分～15時30分
 『坊っちゃん』夏目漱石 著

★ 子どもの本を読む会【対象：一般】

龍野図書館
 9日(木) 10時～11時30分
 『太陽の戦士』ローズマリ・サトクリフ 著

★ 古文書を読む会【対象：一般】

御津図書館
 11日(土) 13時30分～15時30分
 古文書の解説

館内特集・展示 (一部紹介)

龍野図書館

家時間を過ごす

寒い時は、家でほっこり・ゆったり時間を過ごす方法を紹介します。

生誕100年 夏目漱石

漱石の関連本を集めました。

講演会：2月18(土)・25日(土)
※ 詳細は龍野図書館まで

【期間】2月26日まで

新宮図書館

小説に書かれた 偉人たち

鈴木商店の女主人を描いた『お家さん』(玉岡かおる)、日本の陶芸に魅せられたイギリス人『リーチ先生』(原田マハ)など、明治から昭和を生きた人々を主人公にした小説を集めています。

【期間】2月27日まで

揖保川図書館

図書館員おすすめ本 “これを読むのだ”

これまでに「来ぶらり」で紹介した本を展示します。

－ 児童の展示 － 芽がでてる

『みしのたくかにと』などの芽の出てる本を紹介します。

【期間】2月26日まで

御津図書館

つくってみよう!

ピカピカ泥だんごをつくる?
それとも素敵なツリーハウス?

おいしいデザートもいいかも!?

料理、工作、DIY、手芸など、何かをつくりたくなる本の特集です。

【期間】終了日未定